

TRANSITION TO HEALTH (111)

“ 新型コロナウイルス感染 ③ ”

～ “ コロナワクチン ” と “ 牛乳神話 ” の共通点 ? ～

はじめに

ワクチン慎重派が3回目の接種中止・子どもへの接種中止を訴える中、ワクチンメーカーは4回目の接種が必要だと言い、厚生当局は「60歳以上、基礎疾患を有する人」を対象とする計画である。いつになったら厚生当局・感染症専門家たちは真実を公表するのか？ ワクチンの「有効率95%（絶対リスク減少率はたったの0.71%）」に始まり、ADE(抗体依存性感染増強)が起こると**ブレイクスルー感染**と称し、「1回接種より2回目接種」「2回接種より3回目接種」さらには「4回目の接種が必要」などと主張してきた。「**未接種者が一番感染していない**」「**未接種者が一番重症化していない**」という事実を、口が裂けても言わない様子である。また「感染者の**基礎疾患**の悪化・増悪死」を全て「**コロナ感染直接死**」として恐怖を煽っている。たまたま未接種者が感染・重症化すると、鬼の首を取ったかのように「ワクチンは未接種でした!」と強調している。

新型コロナウイルスワクチン (mRNA ワクチン) の不都合な真実について

NHK・民放各局、メディアが流す情報（洗脳情報? =FAKE?）と今までデマ扱いされてきた**良識ある**ノーベル賞受賞科学者・大学教授・研究者・専門家などからの**警告**（真実? =FACT?）を大雑把に比較表にしてみた。予防効果の「絶対リスク減少率0.71%」の算出法については、本通信 No.91 & 92 を参照して頂きたい。下表の内容については、本通信の35回

にわたる特集「新型コロナウイルス感染」を読まれてきた皆さんにはきっと理解して頂けることでしょう（個人的見解?）。

3月末の英国の報告によると、**新規感染者の約90%が3回目接種完了者**で、未接種者はほとんど感染していなかった。米国でもPCR検査**陽性者の84%**がワクチン接種者であったとFOXテレビが報じていた。日本でも3回目接種者の**接種後死亡**、接種後のワクチン**後遺症**、接種後の**基礎疾患重症化**事例が増えている。政府当局は箱

新型コロナウイルスワクチンの不都合な真実（個人的見解）（2021.07）		
	通説（マスメディア情報）	不都合な真実（良識ある警告・デマ?）
予防効果	★有効率 95%	★絶対リスク減少率 0.71% ほぼ 無効
mRNAの局在	★mRNAは注射部位 局所 ・上腕の 筋肉細胞 の中に留まる	★mRNAはリンパ流・血流に乗って 全身 に拡散・分布される
スパイクタンパクの局在	★スパイクタンパクは注射部位 局所 の 筋肉細胞表面 に出現する	★スパイクタンパクは 全身 （心臓・副腎・脾臓・卵巣・精巣など）で産生され得る
抗体の働き	★産生される抗体はウイルスを無力化する 中和抗体 である	★中和抗体とは限らず、感染を増強する ADE抗体 ・ 悪玉抗体 の場合も多い
安全性	★『 安全性 』は 確認 されている 接種後 死亡 事例・接種後 重症障害 発生事例はワクチンとの『 因果関係 ・ なし 』	★スパイクタンパク⇒ 血栓形成 ⇒ 心筋炎 ・ 心筋梗塞 ・ 心不全 、 脳梗塞 → 死亡 ★ 免疫不全 ⇒ 癌 発症（20倍との報告有り） ★ 不妊症 、自己免疫疾患、難病、認知症などの 長期的な副反応は未確認!

根駅伝で有名になった青山学院大学の原監督を登用して3回目の接種を呼びかけている。こんな危険なワクチンを、何故、日本人は素直に受け入れてしまうのであろうか。「政府・厚労省が奨めるから絶対大丈夫・安全である」ではないのである。そこには発がん性食品である乳製品・チーズの消費量が増加している日本人の意識と無関係ではなさそうである（個人的見解）。

40年前に「牛乳神話」は崩壊したはずだが・・・チーズの消費量は増え続けている

アメリカで牛乳が商品化されたのは**1927**年頃といわれ、いち早く米国政府は国家政策として、早期に乳児への授乳を「**母乳から牛乳へ**」と強引に**移行**させたところ乳児死亡が激増した。**1930**年、シカゴでの乳児**2万人**を対象とした研究では、**牛乳栄養**では全死亡率**56.5倍!** 消化器系感染症による死亡率**40倍!** 呼吸器系感染症による死亡率は**120倍!**に

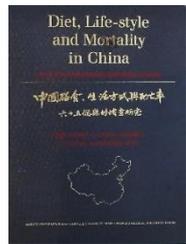
上昇していた（本通信 No.38）。1960 年代、**癌・心臓病・糖尿病** 大国と化していたアメリカは、1977 年の「米国上院栄養問題特別委員会」報告（いわゆる**マクガバン報告**）で、「**癌、心臓病、脳卒中などアメリカで急増している病気は、肉や卵、**

乳製品、砂糖などを過剰に摂取する食事が原因になっている」と報告された（本通信 No.4）。

牛乳の害が確定的になったのは、“栄養学のアイコン” トーマス・コリン・キャンベル博士（右下写真）が 1982 年に公衆栄養情報委員会報告『**食物・栄養とガン**』として全米科学アカデミーから「食習慣と健康に関する研究レポート」を発表し、『**動物性食品（肉・乳製品・卵）の過剰摂取がガンの強力な要因となっている**』と結論づけた時であった。また、

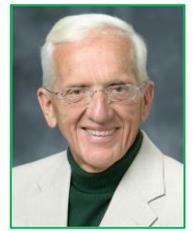
1990 年にはキャンベル博士らは牛乳・乳製品・肉などの動物性食品の**発癌性・癌増殖性**を動物実験で証明したのであった。

★ 牛乳・乳製品で乳がん発症率 10 万人に 1 人 ⇒ 10 人に 1 人に・・・**1 万倍！！**



“**Diet, Life-Style, and Mortality in China: A Study of the Characteristics of 65 Chinese Counties** **中国膳食、生活方式與死亡率：六十五個縣的調查研究**” の「ガンの分布図」（1990）（キャンベル博士らが纏めたチャイナ★スタディー）では、農村部の中国人

女性の乳癌粗死亡は**10 万人に 1 人**だったが、西洋諸国ではすでに**10 人に 1 人**に近づいていた。同じ漢民族でもシンガポールや英国のチャイナタウンで西洋型の食事をしている女性の乳癌死亡



は西洋人並みに増加していた。1980 年代初頭の中国農村部では、牛乳・乳製品を摂る習慣はなく、都市部での**乳癌の増加は牛乳・乳製品・肉などの動物性食品の過剰摂取**に因ることは疑いの余地が無かった。**乳癌発症 1 万倍！**（本通信 No.31）

★ 8 割の日本人よ、「牛乳は完全栄養食品」という**マインドコントロール**から速く抜け出そう！！

牛乳は 70 ポンド（約 32kg）で生まれた子牛を 1 年で 1000 ポンド（約 454kg）に成長させる**牛の赤ちゃん専用**の母乳である。牛乳**カゼイン蛋白**は猛烈な勢いで子牛の細胞を分裂・増殖させ、1 年で 400kg に成長させる**特殊蛋白**である。これを人が飲めば、**カゼイン蛋白**は牛乳中のインスリン様成長因子（IGF-1）を人体に吸収させるばかりか、人体内でも IGF-1 を過剰に産生させる。IGF-1 は**エストロゲン**以上に**癌細胞**を増殖させる力が強く、微小乳癌が数か月で一気に増大することもありうる。牛乳は“**牛の白い血液＝血液製剤**”であり、人間にとっては、免疫学的には排除されるべき異物（**異種蛋白**）である。牛乳・ヨーグルト・生クリーム・チーズ・バターなどの**過剰摂取**を続ける限り、今後も**乳癌・前立腺癌**は増え続けるであろう（本通信 No.31）。ここで「牛乳神話」を未だに信じている方への推薦図書・DVD を紹介しておきます。『THE CHINA STUDY』の邦訳本『**チャイナ★スタディー**』（グスコ出版）、キャンベル博士とエセルスティン博士のドキュメンタリー映画の DVD 『**FORKS OVER KNIVES**（いのちを救う食卓革命）』（日本コロニア株）



セッシュ（接種・摂取）すればするほど危険

コロナワクチン（mRNA）と牛乳・乳製品の共通点は
① セッシュ（接種・摂取）すればするほど**危険**であること
② メーカーが危険性を**隠蔽**しているらしい？ことである。

ワクチンでは製薬業界・医学界・厚労省が、牛乳・乳製品では食品業界・畜産業界・厚労省・農水省が危険性を敢えて言わない（言えない？）でいるのであろうか。厚労省研究班（国立がん研究センター）は 2008 年 4 月『**乳製品多量摂取と前立腺癌のリスク上昇**』の関係を発表していた。

おわりに

ワクチン接種率とコロナ感染率・死亡率が正の相関関係にある（接種率が高い国ほど感染率・死亡率が高い）ことは、マスメディアが隠蔽している、否定しがたい世界共通の現象・事実・真実である。史上最大・最悪の**薬害訴訟事件**に発展する前に「ワクチン接種は中止されるべき」である。「第 2 類相当」から「**第 5 類**」への格下げと予防薬・治療薬としての「**イベルメクチン**」の承認を希望します（個人的見解）。 **TRANSITION TO HEALTH**（理事長・医師 丸山正明）

牛乳・乳製品の不都合な真実 (2022.04)		
	通説・常識(?)	不都合な真実(医学研究論文に基づく)
牛乳は・・・	★ 完全栄養食品	★ 史上 最悪 の 発がん 性食品
タンパク源として	★ 牛乳のカゼイン蛋白は良質なタンパク源である	★ 牛乳 カゼイン 蛋白は 発がん 性だけでなく、 がん細胞 を急速に 増殖 させる
カルシウム源として	★ 牛乳は 最良 のカルシウム源である	★ 牛乳はヒトの体液を弱酸性（代謝性アシドーシス）に傾けてしまうので、これを 中和 する 緩衝剤 として、ヒトは自分の 骨のカルシウム を 溶かして 中和している
骨粗鬆症に対して	★ 骨粗鬆症を 予防 するために牛乳・乳製品を摂りましょう	★ 牛乳大量消費国はそのまま 骨粗鬆症 多発国であり、骨粗鬆症の 原因 となっている
乳がんに対して	★?	★ 牛乳・牛乳ヨーグルト・ チーズ の過剰摂取が 乳がん の 主要原因 と考えられる

